

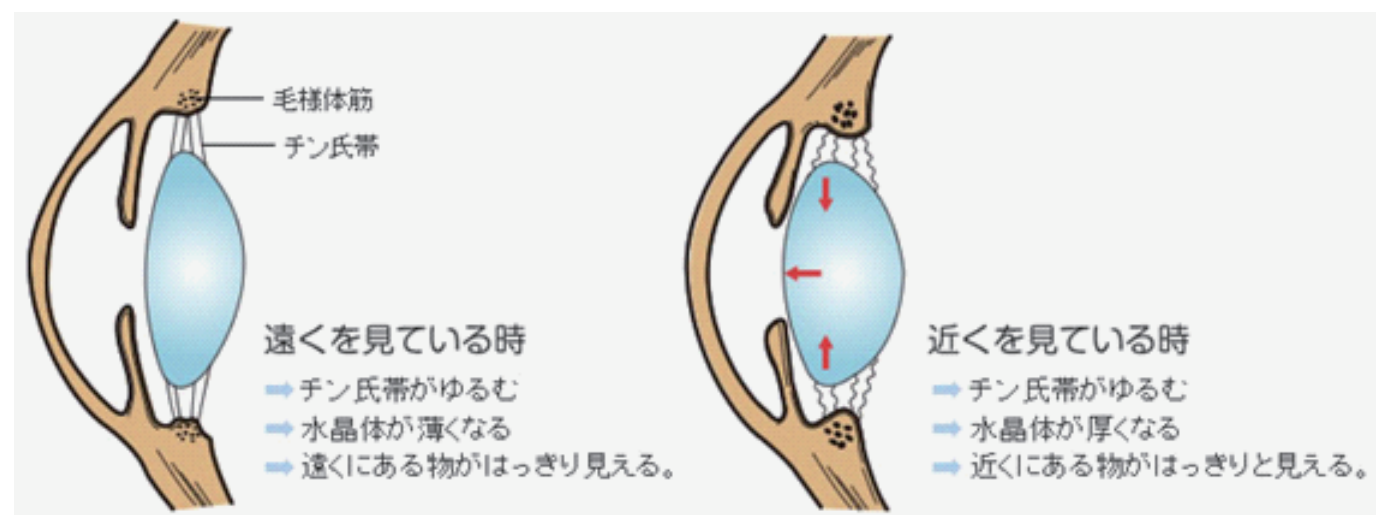
今月は調節緊張についてお話しします！



春と秋の年2回行われる学校検診での視力検査において、大勢の小中高生が視力低下を指摘され、眼科外来を受診されます。その中でも、調節緊張(いわゆる仮性近視)の関与しているケースが多いと思われます。当院では、ご本人および保護者の方と相談の上、すぐに眼鏡処方せず1～2ヶ月は点眼治療および訓練でまず様子を見ております。

《調節とは？》

人の目には水晶体(レンズ)というものがあり、遠くを見るととき、近くを見るとときではその水晶体の厚みが変わります。これを『調節』といいます。この水晶体の厚みを変えているのが、『毛様体筋』と呼ばれるピント合わせをする目の筋肉です。ゲームやパソコン作業などを長時間行っていると、この毛様体筋が緊張して固まり、視線が近くに固定されたままになってしまいます。逆に、遠くなどを見た場合で焦点が無限の距離にあると、毛様体筋は緊張せずに済みます。



治療は？

毛様体筋を緊張しない状態を人工的に作り、目の緊張をほぐすことを『雲霧(雲霧法)』といい、この機能を備えた両眼視簡易検査器(ワック)を定期的に見て頂いています。自宅では、①ミオピン(調節機能改善)、②ミドリンM(近視症状の寛解、調節麻痺)などの点眼をさして頂きます。ミドリンMを点眼すると、瞳が大きくなり、ピント合わせが出来なくなります。このため、必ず就寝前にさして頂き、その効果が約8時間続きますのでご注意ください。基本的には、当院へ1週間に1度、1～2ヶ月通院(中学生以上の場合、2週間に1度のこともあります)し、毛様体筋の緊張をリラックスさせる訓練と視力の経過観察をさせて頂きます。1～2ヶ月様子を見て、他覚的に改善傾向が余りない場合はやはり近視と考えられ、すでに眼球の形状が変化(眼軸長の延長)している可能性があり、これ以上治療を続行しても視力の回復する見込みは低いと思われます。



メガネのタイミングは？

視力の改善する見込みが少ない状態で、漫然と治療を続けることは学校生活(特に学業)や日常生活に支障を来すことになりかねません。0.7の視力があるのかないのかが、眼鏡を処方するかどうかの一つの目安になります。また、座席を前列に移動させてもらっても黒板の文字が見えにくい、ものを見る時によく目を細めている、テレビを見る時に前に行くなどの症状があれば、必要に応じて眼鏡をかけた方が良いと説明をさせて頂いており、ご希望があれば眼鏡処方箋を交付致します。

●ご注意●4月～6月上旬までは、学校検診の時期にあたり視力検査の件数が増え、午後4時30分以降の午後診および土曜日の午前診が混雑することが多いです。大変ご迷惑をお掛けしますが、ご了承のほど宜しくお願い申し上げます。

親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

瞳きらきら通信

TEL 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2013

春
vol.8



院長ごあいさつ

「50周年おめでとうございます」と何人かの患者さんにお声をかけて頂いた。ありがたい気持ちで一杯である。

先日などは「太先生(父のこと)にも大変お世話になり、こちらで診て貰ってもう30年になります」と言って下さる98歳の患者さんが受診された(驚)。

この患者さんは、近くに眼科があるのにも関わらずわざわざタクシーに乗って当院に来られる。往診のことを伝えても「自分が動けるうちは来ますから」、紹介状を書くことを伝えても「みんなが優しく対応してくれるのでこちらに来ますから」とおっしゃる。

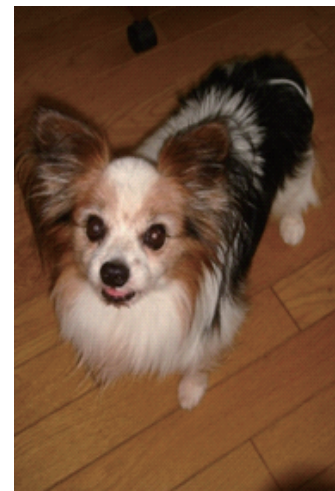
こんなにも当院のことを思っていて幸せであり、本当にありがたいこと。親子2代にわたり少しは患者さんのお役に立てているのかなと思う。

「今日は、孫の診察に付いて来ました」と心配そうに話すおばあちゃん。体調の思わしくないご主人を気遣い仲良く受診されるご夫婦。患者さんのご家族の方が受診されると、私はちょっと嬉しい気分になる。大切な家族に当院を薦めて下さった事、当院を選んで下さった事に感謝、感謝である。その期待に応えられるようにもっと頑張らないといけない。

医院を継承した時、33歳の青年(?!)眼科医だった私も御年53歳のオッサンである。あれから20年。。。月日が経つのは、本当に早い。チーム梶川は、これからも“一生のお付き合い”“家族ぐるみのお付き合い”が出来るよう地域の皆さんから信頼される眼科医院を目指します。

院長 梶川大介

コラム数珠つなぎ



今回は、受付・川野がお届けします！

私は阪神・淡路大震災のあと、犬を飼うようになりました。初めて飼った犬はパピヨンの女の子で「メロディ」といいました。それから18年が経ちますが、やっぱりパピヨンが大好きで、今は男の子の「フォルテ」(13歳半)と女の子の「ピアノ」(9歳)の2匹を飼っています。小さい頃は2匹とも元気にしていましたが、齢をとるにつれて病気になってしまいました。「フォルテ」は尿路結石で“う～んう”と苦しんでいました。「ピアノ」は乳腺腫瘍で2回も手術を受けることになってしまいました。現在は2匹とも元気です。いつまでも長生きしてほしいと願っています。人間も健康第一ですから、皆さんも人間ドックとかを受診されて、健康で楽しく過ごしましょうね。



おかげさまで50周年♪記念にココを変えました！

今年限定ロゴマーク

50周年を迎えるにあたってロゴマークを少し変えてみました。
さて、どこが変わったかお解りですか？

- ① キャッチコピー「心のこもった眼科医療を目指して」
⇒「おかげさまで50周年Thanks for 50 years」、
- ② 梶川眼科医院の文字を「水色」⇒「赤色」、
- ③ 個人的にはめっちゃ気に入ってる視力表の「ルヒネヨル」⇒「アリガトウ」、
- ④ 周辺の色「水色」⇒「紺色」へ変更致しました。

《通常のロゴマーク》 《今年限定のロゴマーク》



患者さんもスタッフも院長も老若男女を問わず皆が、笑顔と感謝の気持ちで溢れる
幸せな医院作りを目指します。そんな想いが、このロゴマークには込められています。
特に今年は、感謝の気持ちにこだわりたいです。

看板を変えました！

50周年記念の節目の年ということもあって、板宿駅構内にある「リス」の看板をご覧のような可愛い感じの
イラストタッチのものに変えました。この素敵なイラストは、当院スタッフが描いたものです。

Hさん、いつも本当にありがとうございます。

院長の私を先頭に何やら楽しそうな雰囲気が、伝わってきます(苦笑)。



《以前の看板》



《新しい看板》

合同お誕生日会を開催しました♪

今年は、50周年記念イベントの一環として、4回に分けてスタッフのお誕生日会を催します。

第1回の1月～3月生まれ5人のお誕生日会は、
離宮公園近くの神戸迎賓館須磨離宮・ルアンで
行いました。

このレストランの前身である旧西尾邸(大正8年築)は、
平成22年3月に県指定の重要文化財にも登録され、
須磨の地で新たな時を刻み続けています。



内装は当時をそのままに修復、

インテリアは再現したものを用地モダンな感じです。

何を隠そうここは、私たち家族が長年にわたりテニスをさせて頂いた思い出いっぱいの
場所なのです。当時、テニスコートがあった場所にチャペルが建ち、メンバーや子どもたちが
たむろしていた部屋がレストランに様変わりし本当にびっくり。



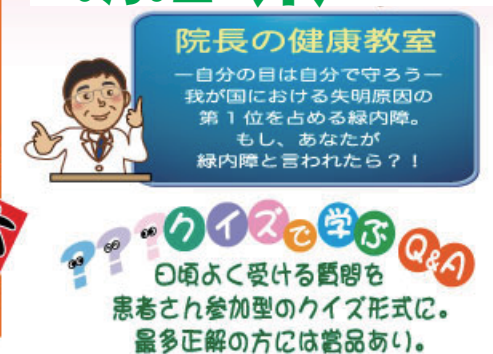
今回はランチでしたが、フルコースでとっても美味しかったです。

何と偶然にもこの日、お誕生日を迎えたスタッフがあり、
みんなでハッピーバースデーの歌を歌い、仲間からの寄せ書き
色紙とディズニーの名入りマグカップをプレゼント。
楽しいひとときを一緒に過ごさせて頂いて感謝、感謝

50周年ふれあいフェアを開催します

おかげさまで50周年。そこで患者さんをお招きしてふれあいフェアを開催します。内容は下記の通りです。
定員がございます。詳しくはスタッフまで。

日時 **6月6日(木)** 場所 当院外来の待合室
時間 14:00～16:00



趣味イキイキ楽々♪

当院患者様であるN・Kさんに詩吟のお話をお聞き致しました。
詩吟はいわゆる歌のようにリズム・メロディに乗せて歌うのではなく、
詩文の素読(朗読)を基本とし、素読の後に特有のメロディ(節調という)を加えることで、
より効果的に加えることで、より効果的に詩情を表現することです。
そんな日本の伝統芸能である詩吟を約4年間されているそうです。

きっかけは、詩吟の先生をされているお友達のご紹介だったそうです。そして、詩吟を始めてすぐにのめり込んでしまった
そうです。その、象徴に初めての大会で優勝をされたとのこと。ホントに凄い方だなと感じました。
最近も大会に出場された実力のある方です。詩吟の練習は月に3回で、現在詩吟3段の腕前です。
日本の伝統芸能である詩吟の素晴らしさを若い世代に伝えたいという熱意も感じました。
N・Kさんはいつもイキイキされて礼儀正しく、素直な気持ちで様々なことを吸収し楽しまれていて、
なおかつ自分自身をも伸ばしていく感じていた。お聞きしたお時間はとても有意義な時間でした。有難うございました。

(文:受付スタッフ 西山)

